

家庭基礎 学習指導案 (2)ア・オ

- 1 単元名 「食べる」ことから考えよう！
～自分のからだと地球を守るために、高校生の私ができることは何だろうか～
- 2 指導内容 ・私たちの消費行動と日本の食料自給率との関係を知ろう。(1・2 / 6時間)
・あなたの考えが地球を変える！～気付こう、変わろう、提唱しよう～
(3・4 / 6時間：本時)
- 3 本時の目標 自分や家族の食生活を振り返りながら、食生活と環境問題との関連に気付かせ、問題点とその改善方法について検討させる。
- 4 評価規準 ア 食事と健康とのかかわりに関心をもち、自分や家族の食生活を振り返りながら、自分の問題としてとらえ意欲的に学習に取り組んでいる。(関心・意欲・態度)
イ 家族の食生活と環境とのかかわりを考えた生活について検討することができる。
(技能・表現)
- 5 本時の実際 < 2時間 >

	生徒の学習活動	教師の指導内容	評価規準と方法
導入	1. 前回の学習内容を振り返る。 2. 前回のプリントを見直す。	・日本の食料自給率を上げる努力の大切さを確認する。	
展開	3. 本時の学習内容を知る。 食生活を通して、自分や家族、地球全体に目を向ける。	・前回からのつながりを確認する。 ・自分の食生活を見直し、家族へと視点を広げていくことを伝える。	
	4. 自分の食生活を振り返る。 食育ビンゴに記入し、普段の食生活の問題点を探る。	・ワークシートに食べたものを書き出すことで、自分の食生活(食事と間食の摂り方)について考えさせる。 ・食育ビンゴゲームを通して、食事のバランスを視覚的に判断させる。 ・食材や食べ方について周りと比較させることで、自分の食生活を判断させる。	規準ア【関】 食育ビンゴシート
	5. 家族の食生活を振り返る。 冷蔵庫チェックを行い、買い物や食材の使い方の問題点を探る。	・自宅の冷蔵庫の中身を分析させ、周りと比較させることで、食材や調味料の使い方に関心をもたせる。 ・「牛乳の買い方」アンケートを行い、結果を発表すると共に、売れ残りの牛乳の行方について予想させる。	
	6. 日本の食料廃棄の実態について知り、改善点を考える。	・コンビニエンスストアやファーストフード店における食料品(特に弁当やハンバーガー)の販売方法と保存時間)について説明し、問題点を考えさせる。 ・なぜこのような販売方法が行われているのか考え、発表させる。	規準イ【技】 行動観察
まとめ	7. 本時の内容をまとめる。	・自分の食生活のバランスについて考えさせ、「食生活チェックカレンダー」を紹介する。 ・「食生活チェックカレンダー」の記入方法を簡単に説明し、積極的に取り組んでみるよう勧める。	